

2.3 営巣卵及び生体駆除結果まとめ

(1) 駆除結果の経年変化

令和4年度に実施したクジャクの営巣卵及び生体の駆除について、駆除結果を表2.13に示す。また、クジャクの推定生息数、各種駆除数の推移及び生体駆除数の性別内訳を図2.22及び図2.23に示した。

令和4年度の探索犬による営巣卵の駆除では、91.5人時の作業により、22巣・97個の営巣卵を駆除し、駆除効率（駆除結果／作業人時）は0.24巣であった（表2.13）。平成28年度以降の駆除数及び駆除効率はおおむね減少傾向にあったが、令和3年度以降増加傾向にある（表2.13、図2.22）。これは、令和2年度の新型コロナウイルス感染症拡大の影響により営巣卵の駆除が十分に行えなかったこと、駆除できなかった卵から孵化した雌が令和4年度には性成熟し、繁殖を始めたことによると推測される。

令和4年度のねぐら探索による生体駆除では、112羽を捕獲し、駆除効率は3.0羽であった（表2.13）。生体の駆除効率は、平成31年度までに2.3羽まで下がったが、その後上昇に転じている（表2.13）。図2.23で示したとおり、令和3年度以降は幼鳥の駆除数が増えていることから、上述した新型コロナウイルス感染症拡大の影響で増加しているものと考えられる。

表 2.13 経年のクジャク駆除対策結果まとめ

作業項目	年度	作業人時	駆除結果	駆除効率
営巣卵の駆除 (探索犬)	H28	132.5	38巣・182個	0.29巣・1.37個
	H29	176.3	57巣・277個	0.32巣・1.57個
	H30	162.6	33巣・157個	0.20巣・0.97個
	H31	158.0	31巣・167個	0.19巣・1.05個
	R2	69.8	5巣・19個	0.07巣・0.27個
	R3	120.0	16巣・74個	0.13巣・0.61個
	R4	91.5	22巣・97個	0.24巣・1.06個
	合計	910.7	220巣・973個	0.22巣・1.48個
生体駆除 (空気銃+くくり紐)	H28	32.8	103羽	3.1羽
	H29	55.0	200羽	3.6羽
	H30	45.0	143羽	3.2羽
	H31	34.5	81羽	2.3羽
	R2	35.5	103羽	2.9羽
	R3	35.0	121羽	3.4羽
	R4	37.0	112羽	3.0羽
	合計	274.8	863羽	3.2羽

注) 駆除効率は駆除結果/人時から算出した値を表す。

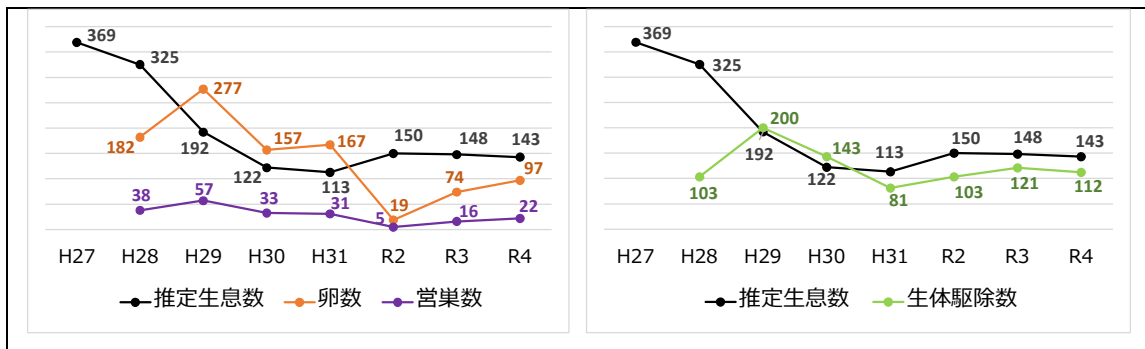


図 2.22 推定生息数及び駆除数の経年推移

注.1 図中の数字は生息数(羽)及び駆除数(個、巣または羽)を表す。

注.2 生息数は現地目視調査による推定で示す。

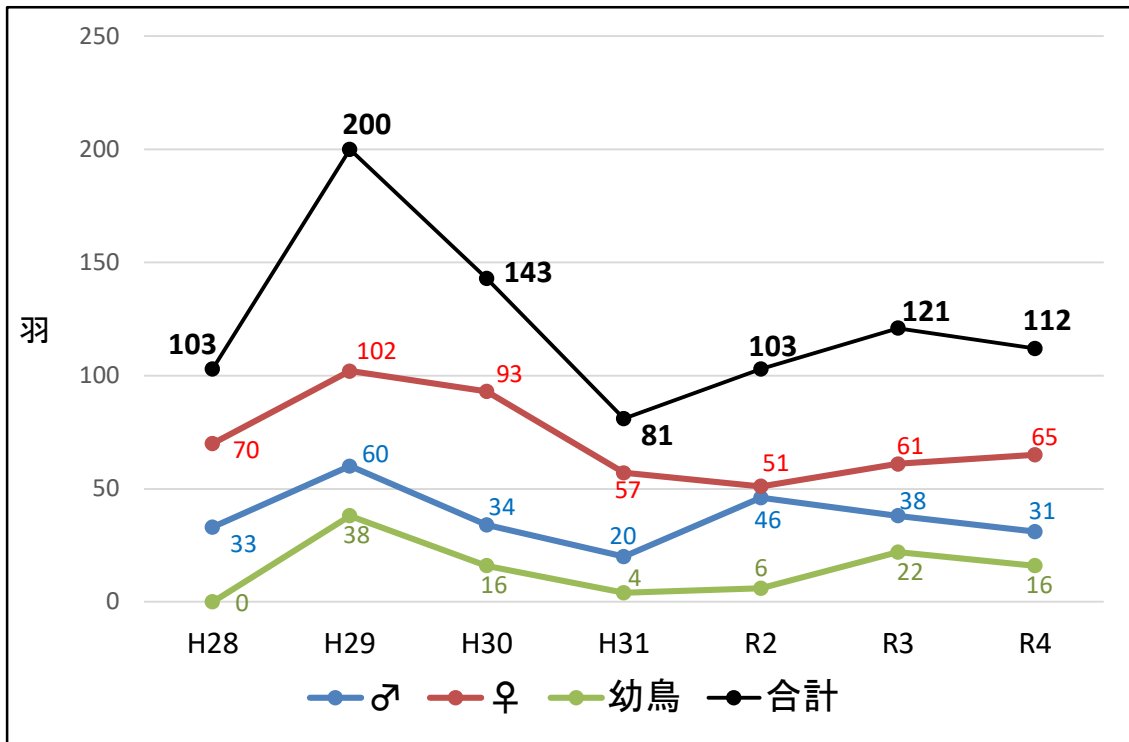


図 2.23 クジャク生体駆除数の性別内訳

(2) エリアごとの生息状況の経年変化

エリアごとのクジャクの生息状況を把握するため、黒島全体を環境またはおおまかな個体群の分布状況にあわせて8つのエリア (L01～L08) に分類してデータ整理を行った (図 2.24)。使用するデータは、平成 28 年度以降の営巣卵駆除結果、ねぐら地点における生息確認数及び駆除数とした。

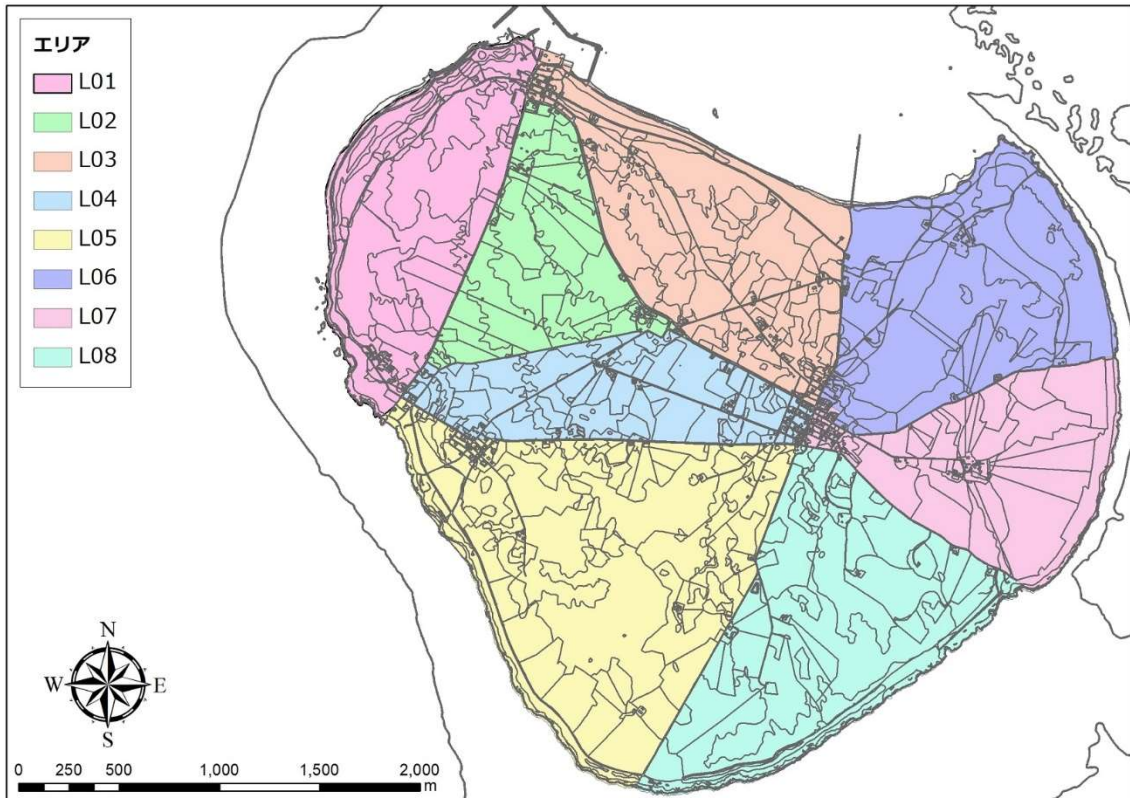


図 2.24 黒島エリア区分 (L01～08)

1) 黒島全域の概要

黒島全域の生体及び営巢の調査結果及び各結果の経年変化を図 2.25～図 2.29 に示す。

黒島全域のねぐらにおける生体確認数及び駆除数は、平成 30 年度から平成 31 年度にかけて減少傾向がみられたが、その後おおむね横ばいとなっている（図 2.25）。

エリア別にみると、L01、L03、L05、L06 は生体確認数及び駆除数の増減が大きく、個体が多く残っていることがうかがえる（図 2.26、図 2.27）。その他のエリアについては、生体確認数及び駆除数が減少傾向にあるか、比較的少ない状態で推移している（図 2.26、図 2.27）。平成 31 年度に L05 の生体確認数が大幅に減少した際、L04 では増加した。両エリアは隣り合うため、何らかの影響で L05 の個体の一定数が L04 に移動していた可能性が考えられた。

なお、巣数及び卵数については、おおむね減少傾向にあったが、令和 3 年度以降増加がみられる（図 2.25）。特に L05、L06 及び L08 はその傾向が比較的大きかった（図 2.28、図 2.29）。

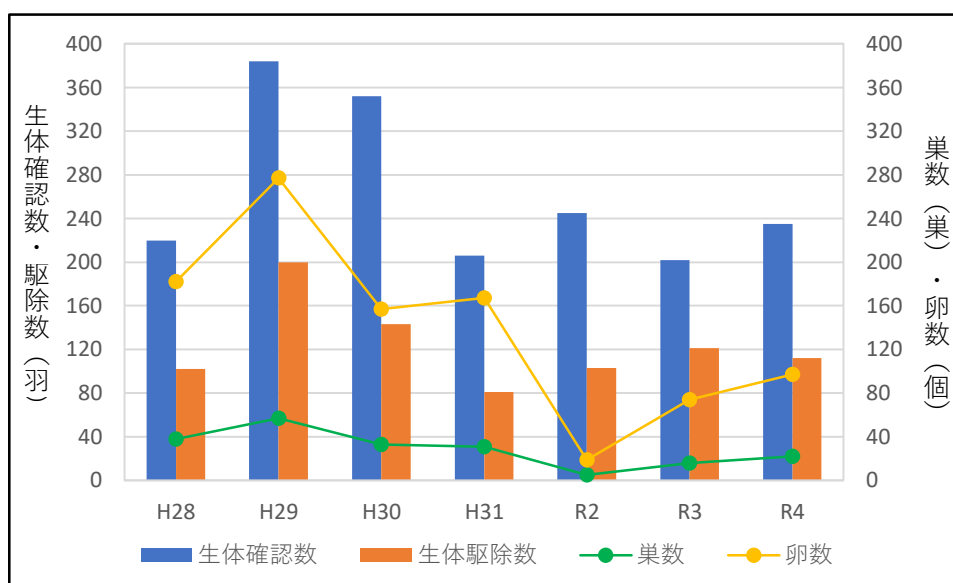


図 2.25 黒島全域における生体及び営巢の調査結果

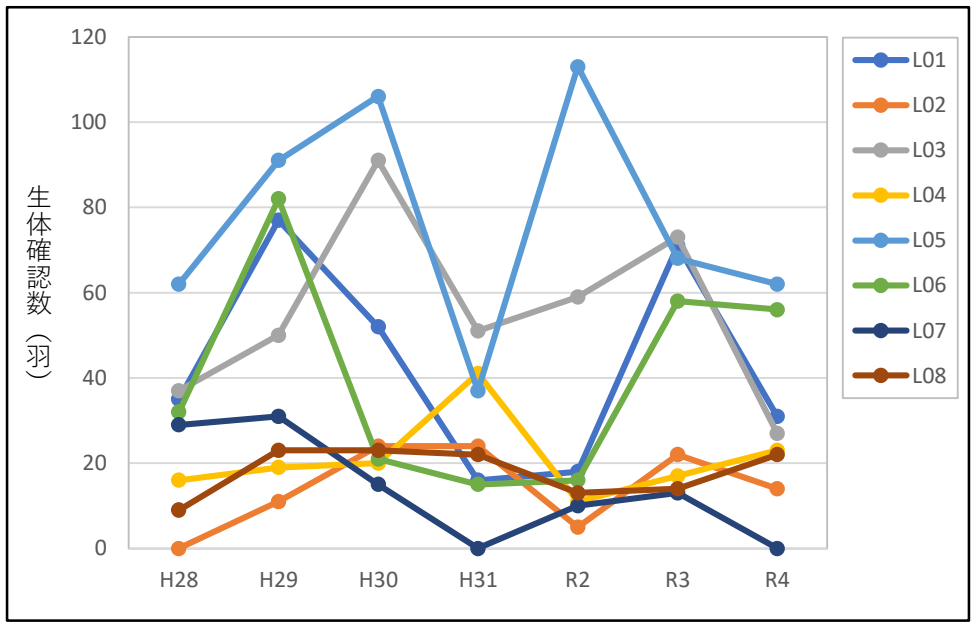


図 2.26 ねぐらにおける生体確認数の経年変化

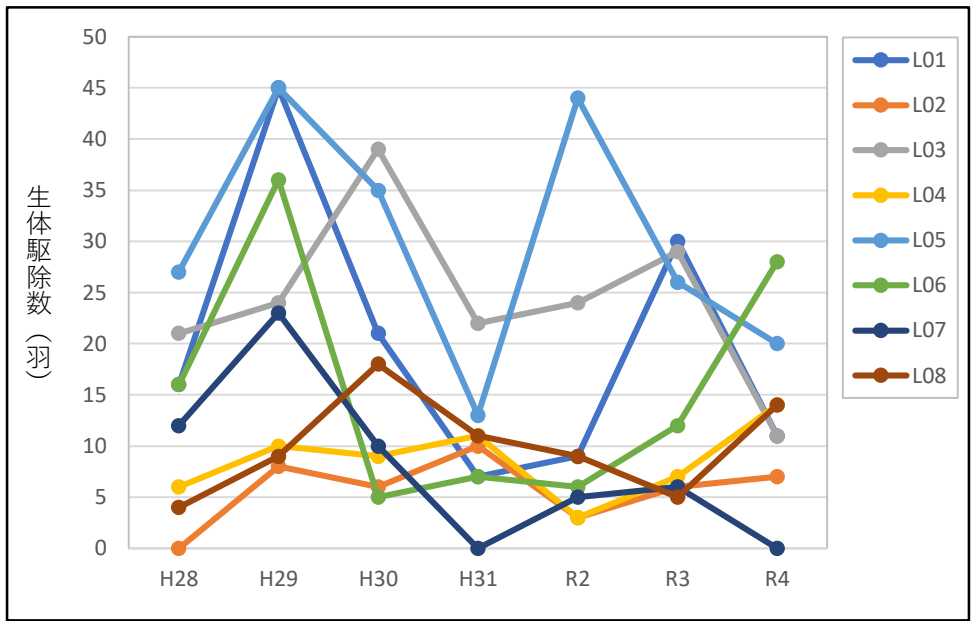


図 2.27 ねぐらにおける生体駆除数の経年変化

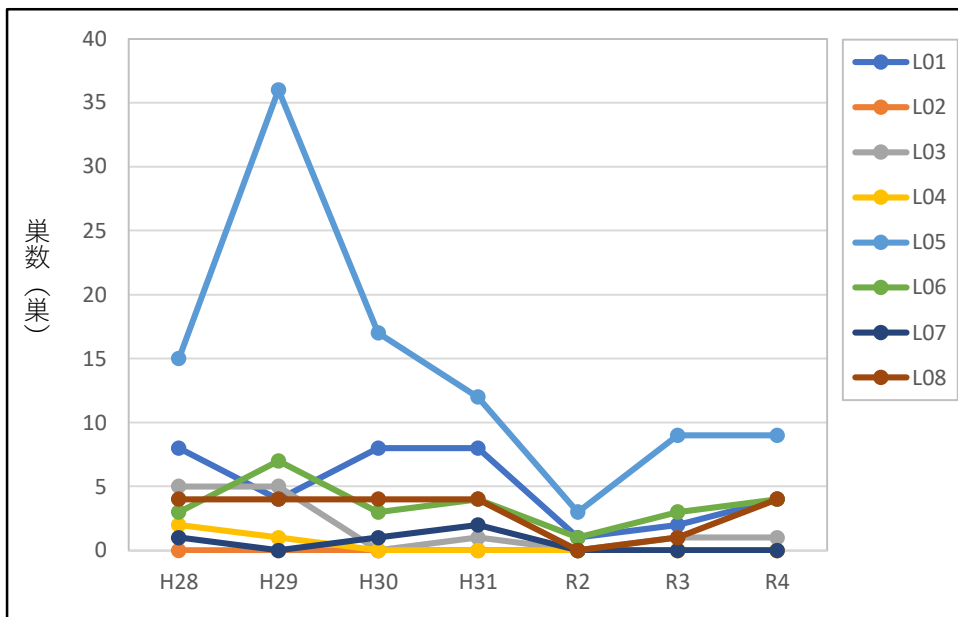


図 2.28 巣数のエリア別経年変化

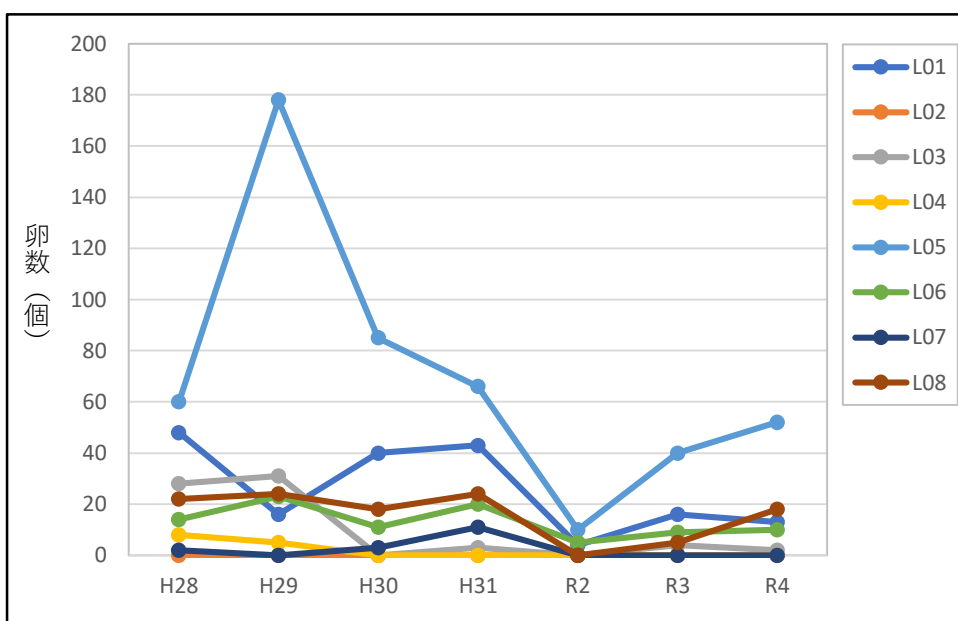


図 2.29 卵数のエリア別経年変化